

第1.3-3図 敷地周辺陸域の地質断面図

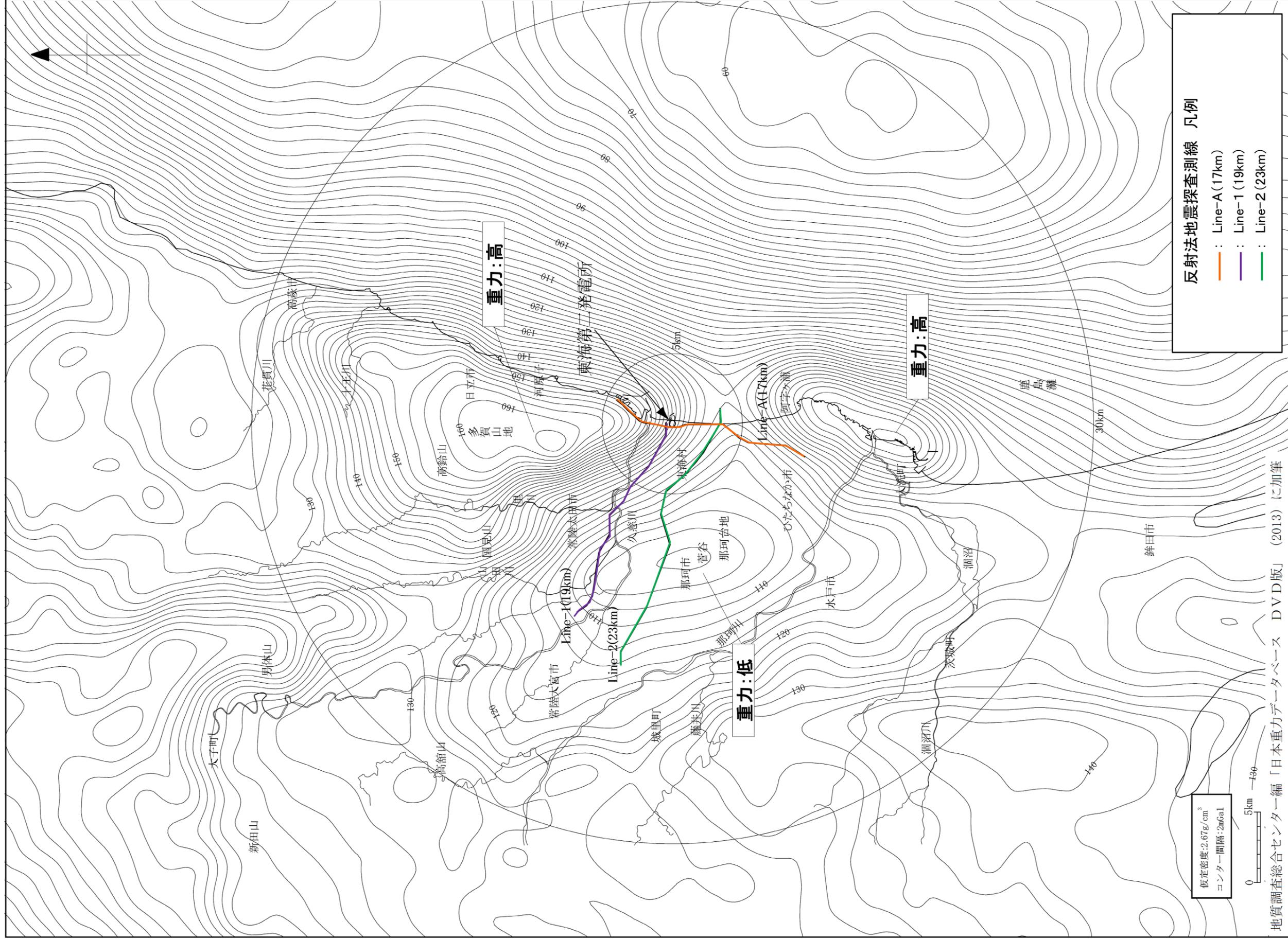


- ・文献調査結果によれば、赤城水沼9, 10(MzP-9・10)は、テフラ分析の結果等から、箱根吉沢下部6~8(K<sub>1</sub>P-6~8)とほぼ同時期の降灰とされている。K<sub>1</sub>P-6及びK<sub>1</sub>P-8の降灰年代はフィッション・トラック年代測定結果から約13万年前と評価されている。
- ・K<sub>1</sub>P-6~8は、東京・横浜地域で下末吉段丘堆積物の上位に堆積した風成ローム層下部に確認されていることから、MIS5eのピーク(最新の知見では約12.3万前)直後の海退期(約12万年前)に降灰したものと判断される。
- ・一方、MzP-9・10についても、M1段丘堆積物の海成層の上位の堆積物(海退期の堆積物)中に確認されていることから、K<sub>1</sub>P-6~8と同時期に降灰したものと評価することは、層序的にも矛盾はない。

町田・鈴木(1971) 町田(1977)	鈴木(1989)	鈴木(1990)
<p>・箱根火山を給源とする東京・横浜地域の下末吉ローム層下部に含まれる箱根吉沢下部8(K<sub>1</sub>P-8)及び箱根吉沢下部6(K<sub>1</sub>P-6)のフィッション・トラック年代測定を実施</p> <p>・上記結果から、箱根吉沢下部7(K<sub>1</sub>P-7)を約13万年前と評価</p>	<p>・テフラ分析の結果から、那珂台地北東部の見和層上部層最上部の砂層中に確認されたテフラのうち、Miwa-MがK<sub>1</sub>P-7に対比されることを確認</p> <p>・町田・鈴木(1971), 鈴木(1977)を踏まえ、Miwa-Mを約13万年前と評価</p>	<p>・テフラ分析の結果から、水沼の下部ローム層から確認されたMzP-9・10はMiwa-Lに、赤城一水沼第8a軽石(MzP-8a)はMiwa-Uに対比されることを確認</p> <p>・鈴木(1989)に示したMiwa-L~Uは厚さ約1.4mの砂層中に確認されるため、いずれも約13万年前と評価</p>

※町田・新井(2011):新編火山灰アトラス[日本列島とその周辺]における名称





第1.3-7図 敷地周辺の重力異常図及び反射法地震探査測線位置図